



# カビの発生予測、混入、発生防止と

## 「カビ毒」の基礎知識

- 日時:2024年6月20日(木) 10:30~16:00 ●聴講料:1名につき55,000円(消費税込、資料付)  
●会場:Zoomを使用したLive配信セミナーです。 【1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき49,500円(税込)】  
勤務先やご自宅のパソコンでご視聴ください。 【大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。】

### 1. カビ発生時期の予測、発生原因の特定 及び混入、発生防止対策

(株)アメリティー・テクノロジー 代表取締役  
永安 克志 氏

【10:30-12:30】

#### 【講座主旨】

1. 現有環境におけるカビ発生有無の予測し、発生すると予測された時の対策について解説いたします
2. カビが発生した時の原因追及方法を解説いたします
3. カビの混入及び発生防止について解説いたします

#### 1. カビが発生する環境条件

- ・カビの発育条件
- ・カビの発生する温湿度
- ・胞子の大きさと生育環境との関係
- ・カビの生える速度

#### 2. 室内や工場内のカビ

- ・カビの種類
- ・カビの量
- ・浮遊カビの許容濃度
- ・カビの害

#### 3. カビの発生原因の原因解明

- ・原因解明のための各種測定方法
- ・浮遊カビの測定方法
- ・カビの発生予測(カビ指数)
- ・カビセンサー
- ・付着カビ測定
- ・カビ発生原因の解明方法

#### 4. カビの混入・発生防止

- ・清掃について
- ・消毒方法
- ・クリーンルーム
- ・温湿度の制御
- ・防カビ剤について

### 2. カビ毒の特性、種類、検出について

東京農業大学 応用生物科学部 教授  
小西 良子 氏

【13:30-16:00】

#### 【講座主旨】

カビは私たちの環境に存在する身近な微生物ですが、意外とカビの産生する毒については知られていません。特に食品に汚染するカビ毒では、国際的な基準値が設けられているものも多く存在します。本講演では、「カビ毒」の基礎知識としてその特性、種類および検出法についてご紹介し、皆様の理解が深まれば幸いです。

#### 1. カビ毒とは

- ① 3大特性を知る
- ② 種類と毒性：食品を汚染するカビ毒  
(アフラトキシン、アフラトキシンM1、  
デオキシニバレノール、ニバレノール、  
パツリン、オクラトキシンA、フモニシン、  
シトリニン、T2トキシンなど)  
および環境中のカビ毒(サトラトキシン)
- ③ 国際的な基準値と食品衛生法：  
コーデックス基準値の決まり方、  
食品衛生法での基準値の決まり方

#### 2. カビ毒の検出法

- ① 公定法：総アフラトキシン、アフラトキシンM1、  
デオキシニバレノール、パツリン
- ② 簡易法：ELISA法、ラテラルフロー法、
- ③ その他：UV照射法

#### 3. カビ毒汚染を予防するには

火のないところに煙はたたない！

#### ◆略歴◆

東京大学大学院博士課程修了、国立予衛生研究所、国立感染症研究所、国立医薬品食品衛生研究所(最終職 衛生微生物部長)を経て、平成25年から麻布大学生命・環境科学部教授 平成31年4月から東京農業大学 応用生物科学部教授

## セミナー申込書

「カビ」セミナー

No.406104

6/20

- ・申込書に必要事項をご記入の上、FAX(03-5436-5080)にてお申込みください。
- ・ホームページからも申込できます。 <https://www.gijutu.co.jp/>

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	FAX		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) [ 郵送(宅配便)・FAX・e-mail ]			
個人情報の利用目的			
・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため		・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため	



TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.

申込専用FAX 03-5436-5080

#### ●申込方法

1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
2. お申し込み後はキャンセルできません。  
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

3. 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂く場合がございます。
4. 定員になり次第、申込みは締切となります